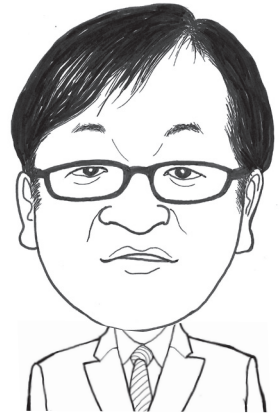


体育館建設の基本構想・計画の在り方について



鈴木 孝寿 議員

町長 社会情勢に対応しながら、さらなる意見を
もらう場を設け、施設整備に取り組む

問

体育館建設における2年程度の先送りは、今後2年間の空白を作ることなく、継続して町民検討会議等で協議し、約30億円近い予算を計上する中で、まちづくり全体に繋がる新体育館として位置付けるべきと考えるが、町長の考えを伺う。

町長

現在の町民検討会議は一旦その役割を終えるものの、今後は社会情勢に対応しながら、各種会議等で寄せられているスポーツ振興や地域活性化等の意見も含めて、さらなる意見をもらう場を設けて、第6期清水町総合計画で目指す施設整備に取り組む。

Jアラートへの町の対応について

教育長 町民生活課と連携し、子供110番の家の活用方法を検討する

問

先般、隣国からのミサイル発射のJアラートが早朝に発表された。この場合の児童・生徒の安全確保については、どのように対応しているのか。また、緊急的な災害を含めて学校

教育長

前回のJアラートの発令後、各学校に対応マニュアルの作成を指示し、

の対応や保護者の理解、子ども110番の家との関係について伺う。

保護者にも文書及びメールなどによりその周知を行ったところである。子ども110番の家に対しては、今後、町民生活課と連携して活用法を含め検討したいと考える。

防犯対策について

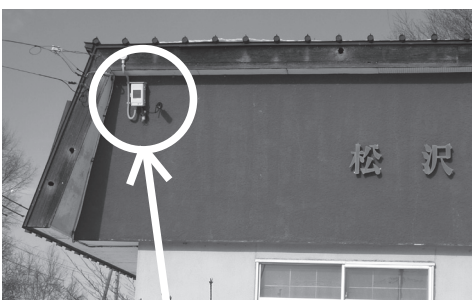
町長 今後、公共施設への整備を進めていく

問

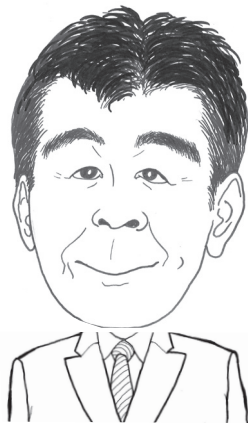
公共施設における防犯カメラの設置状況は、特に町の施設では設置が進んでいない現状がある。防犯カメラの管理・運用に対する指針を策定し、事件・事故を未然に防ぐ観点から早急な整備が必要と考えるが、町長の考えを伺う。

町長

令和3年及び4年に一部防犯カメラを設置しているが、犯罪の抑止効果を踏まえ、防犯上必要な公共施設に今後整備を進めていきたいと考える。



松沢福祉館の防犯カメラ



深沼 達生 議員

厳しい農業情勢への 対応について

生産者が安定的に営農できるよう、
関係機関と情報を共有し今後の対策
を講じていく
町長

問

今年に入り肥料や飼料の高騰に加え、資材や燃料などすべての部分で値上がりしている状況の中で、今の酪農はコロナの影響によりチーズやバターなどの需要が減り、そこに牛乳の生産調整をされたことにより牛の価格が暴落し八方ふさがりの状況になっていると思われる。

町長

世界情勢や円安の影響

で、高騰が続く輸入肥料は今後来年度の生産に大きく影響を与える状況にある。本町では道と同額の1トン当たり3125円を上限に上乗せしている。国の対策を強く要請し、町として必要な対策を講じていく。

現在、長期資金（スーパール資金）の利子補給を道と折半して令和14年度まで補填することと

し、また平成25年以降の利子補給は日本政策金融公庫が実施しており、貸付資金も様々な種類があるので、今後どのような支援があるか関係機関と相談のうえ対応する。

生乳調整がされている中、新規就農者はある程度計画された乳量が認められているが、酪農情勢は肥料・飼料高騰等により厳しい現状にある。このため12月中旬にも決定する加工原料乳生産者補

給金単価等について、単価引き上げの要求や国産の牛乳乳製品需要の消費拡大の取り組み強化等、JAグループ北海道や十勝町村会等で要請活動を行っている。本町でも生産者が安定的に営農できるように、関係機関と情報を共有し今後の対策を講じていく。



JA 十勝清水町資材課



JA 十勝清水町肥料倉庫